

## 主要施策評価シート

様式 2

## 基本目標 1 「強靱」な水道の構築

## 主要施策(1) 安定給水の確保

R4 年度最終予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
41,473,212	34,777,232	15,341,978	50,119,210	34,181,815	13,216,909	47,398,724

## 主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
浄・給水場等の更新・整備					
ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備の推進	○				
栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進					
自家発電設備の増強施設数				○	
管路の更新・整備					
小中口径管の更新延長					
大口径管路更新の実施					
基幹管路の整備の推進	○				

## 主要施策の評価

達成状況	未達成だが進展している
3つの項目について「達成している(100点)」、1つの項目について「概ね達成している(90点)」、2つの項目について「進展していない(25点)」と評価したことから、施策全体としては「未達成だが進展している(45点以上75点未満)」と評価しました。	
$\frac{100 \times 3 + 90 \times 1 + 25 \times 2}{6} = 73.33$	

## 成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 浄水場事故割合	0回	0回	達成している		
2. 管路の事故割合	管路100kmあたり1.0件以下	0.8件	達成している		
過年度実績	R3	R4	R5	R6	R7
1. 浄水場事故割合	0回	0回			
2. 管路の事故割合	0.8件	0.8件			

## 【評価結果の説明・分析】

1. 浄水場事故割合については、浄水場事故が発生せず目標を達成したため、「達成している」と評価しました。
2. 管路の事故割合については、適切な維持管理等により目標を達成したため、「達成している」と評価しました。

## 今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】</p> <p>一部の事業について、入札不調や関係者との協議に時間を要したことにより、進捗が遅れが見られました。</p> <p>自家発電設備の増強工事については、ここ数年の社会情勢により機器の製作期間が長期化したことから、単年度工事を2か年工事にする等の工程の見直しや上期に発注する等の対応により、入札参加しやすい条件としました。これらを踏まえ、令和4年度末に令和5年度以降の計画を見直した結果、令和5年度に当初予定していた5施設の工事に、令和4年度に着手できなかった5施設の工事及び令和6年度に発注する予定であった4施設の工事の前倒しを加味し、令和5年度中に残る14施設の工事を発注することとしました。引き続き進捗管理を行っていきます。</p> <p>大口径管路更新工事については、入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用を図るとともに、道路管理者等との協議時期を早めるなど、計画的に実施していきます。</p> <p>主要施策の評価については「未達成だが進展している」、成果指標の達成状況については、「達成している」と評価しており、遅れが生じているものの事業は進展していることから、引き続き計画に沿って事業を実施してまいります。</p>	

# 主要施策評価シート

様式 2

内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、 成果、今後の進め方」についての 評価の妥当性	
	A : 妥当である            人 B : 概ね妥当である      人 C : 不十分である        人	

外部評価会議委員の主な意見 等及び局の回答	
--------------------------	--

基本目標 1 「強靱」な水道の構築

主要施策(2) 災害に強い施設整備の推進

R4 年度最終予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
143,083,271	31,320,159	9,838,425	41,158,584	26,168,705	12,215,706	38,384,411

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
浄・給水場等の耐震化の推進					
設備耐震化工事の実施	○				
管路の耐震化の推進					
湾岸埋立地域の管路更新延長					
最重要給水施設管路の更新延長					
小中口径管の更新延長(再掲)					
大口径管路更新の実施(再掲)				○	
基幹管路の整備の推進(再掲)	○				
停電・浸水対策等の強化					
自家発電設備の増強施設数(再掲)				○	
計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数	○				

主要施策の評価

達成状況	概ね達成している
5つの項目について「達成している(100点)」、1つの項目について「未達成だが進展している(65点)」、2つの項目について「進展していない(25点)」と評価したことから、施策全体としては「概ね達成している(75点以上90点未満)」と評価しました。	
$\frac{100 \times 5 + 65 \times 1 + 25 \times 2}{8} = 76.88$	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 湾岸埋立地域における管路の耐震化率	59.1%(令和4年度) 70.0%(令和7年度)	59.2%	達成している		
2. 最重要給水施設管路(小中口径)の耐震化率	43.2%(令和4年度) 80.0%以上(令和7年度)	40.5%	未達成だが進展している		
3. 管路の耐震化率	26.9%(令和4年度) 30.0%(令和7年度)	26.9%	達成している		
4. 浄・給水場の耐震化率	98.8%(令和4年度) 99.5%(令和7年度)	98.8%			
過年度実績	R3	R4	R5	R6	R7
1. 湾岸埋立地域における管路の耐震化率	55.3%	59.2%			
2. 最重要給水施設管路(小中口径)の耐震化率	32.9%	40.5%			
3. 管路の耐震化率	25.9%	26.9%			
4. 浄・給水場の耐震化率	98.8%	98.8%			

【評価結果の説明・分析】

- 湾岸埋立地域の管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、計画どおり令和4年度の目標を達成したため、「達成している」と評価しました。
- 最重要給水施設の耐震化率については、地元住民等との調整に時間を要したことで進捗に遅れが生じたものの、令和7年度の目標達成に向け事業を進めており、事業は進展していることから「未達成だが進展している」と評価しました。
- 管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、計画どおり令和4年度の目標を達成したた

め、「達成している」と評価しました。

4. 浄・給水場の耐震化率については、令和4年度は、耐震化を完了する予定の施設がなく、耐震化率が令和3年度実績の98.8%から変わらないことから、評価対象から除外しました。

今後の進め方

今後の進め方	継続
--------	----

【評価結果の説明・分析】

一部の事業について、入札不調や関係者との協議等に時間を要したことにより、進捗が遅れが見られました。  
 自家発電設備の増強工事については、ここ数年の社会情勢により機器の製作期間が長期化したことから、単年度工事を2か年工事にする等の工程の見直しや上期に発注する等の対応により、入札参加しやすい条件としました。これらを踏まえ、令和4年度末に令和5年度以降の計画を見直した結果、令和5年度に当初予定していた5施設の工事に、令和4年度に着手できなかった5施設の工事及び令和6年度に発注する予定であった4施設の工事の前倒しを加味し、令和5年度中に残る14施設の工事を発注することとしました。引き続き進捗管理を行っていきます。  
 铸铁管更新工事及び大口径管路更新工事については、入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用を図るとともに、関係者との協議時期を早める、連絡を密に行うなど、計画的に実施していきます。  
 主要施策の評価については「概ね達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「未達成だが進展している」と評価しており、目標を達成していない項目があるものの、事業は進展していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。

内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性 A：妥当である 人 B：概ね妥当である 人 C：不十分である 人
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	

基本目標 1 「強靱」な水道の構築

主要施策 ( 3 ) 危機管理体制の充実

R4 年度最終予算額 ( 千円 )				R4 年度決算額等 ( 千円 )		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
140,014	134,216	0	134,216	134,055	0	134,055

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
<b>緊急時に備えた体制の充実</b>					
非常時対応訓練の実施、テーマ型訓練の実施、支援協力員との応急給水訓練の実施	○				
本局新庁舎 ( 仮称 ) の建設	○				
<b>給水区域内 11 市等関係機関との連携強化</b>					
応急給水等連絡調整会議の実施	○				
給水区域内各市との合同訓練の実施	○				

主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 緊急時における給水体制	減・断水期間を 4 週間以内に抑える	超過件数：該当なし	達成している		
2. 各種訓練等の実施率	100%	100%以上	達成している		
過年度実績	R3	R4	R5	R6	R7
1. 緊急時における給水体制	超過件数：該当なし	超過件数：該当なし			
2. 各種訓練等の実施率	100%以上	100%以上			

【評価結果の説明・分析】

- 「緊急時における給水体制」については、超過件数の該当がなかったため、「達成している」としました。
- 「各種訓練等の実施率」については、関係所属及び給水区域内各市と相互に調整した結果、「非常時対応訓練」、「テーマ型訓練」、「給水区域内各市との合同訓練」などの訓練実施率の目標を上回ることが出来たため、「達成している」としました。

今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

内部評価機関 ( 経営戦略会議 ) における評価	( 総合的な意見等 ) 自己評価を妥当と認める
	( 特記事項 ) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である           人                  B：概ね妥当である       人                  C：不十分である         人</p>	
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>		

基本目標 2 「安全」な水の供給

主要施策 ( 4 ) 安全で安心な水づくり

R4 年度最終予算額 ( 千円 )				R4 年度決算額等 ( 千円 )		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
5,204,703	4,478,260	5,503,553	9,981,813	8,510,952	1,362,492	9,873,444

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
水源の監視・保全					
水源調査回数					
高度浄水処理の導入					
ちば野菊の里浄水場 ( 第 2 期 ) 施設整備の推進 ( 再掲 )					
水質管理の徹底					
水安全計画の見直しの実施					
水道 G L P の認定維持					
水質検査計画の見直しの実施					
水質検査機器の更新の実施					
水質自動監視装置の更新の実施					
送配水管の計画洗浄延長					
貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率					

主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 水道水における水質基準超過件数	0 件	0 件	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 水道水における水質基準超過件数	0 件	0 件			

【評価結果の説明・分析】

水源の監視・保全や水質管理を適切に行った結果、年間を通じて水道水の水質基準を遵守することができ、目標を達成しました。

今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

内部評価機関 ( 経営戦略会議 ) における評価	( 総合的な意見等 ) 自己評価を妥当と認める  ( 特記事項 ) なし
--------------------------------	--

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である           人                  B：概ね妥当である       人                  C：不十分である       人</p>	
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>		



基本目標 2 「安全」な水の供給

主要施策 ( 5 ) おいしい水の供給

R4 年度最終予算額 ( 千円 )				R4 年度決算額等 ( 千円 )		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
283,850	276,569	0	276,569	243,249	0	243,249

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
おいしい水の技術的な取組					
残留塩素の低減化試験等の実施					
送配水管の計画洗浄延長 ( 再掲 )					
貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率 ( 再掲 )					
おいしい水のお客様との取組					
イベント等 PR 活動の実施					
水質検査体験実施・開催回数、 おいしい水検定実施・開催回数、 おいしい水懇話会実施・開催回数					

主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 水道水の飲み水としての満足度	80%以上 ( 令和 7 年度 )	84%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 水道水の飲み水としての満足度	85%	84%			

【評価結果の説明・分析】

成果指標については、「水道水の飲み水としての満足度」が目標の 80%を超え 84%と成果が出ていることから、「達成している」と評価しました。

今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

内部評価機関 ( 経営戦略会議 ) における評価	( 総合的な意見等 ) 自己評価を妥当と認める
	( 特記事項 ) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p>	
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>	<p>A：妥当である 人                  B：概ね妥当である 人                  C：不十分である 人</p>	

基本目標 3 お客様からの「信頼」の確保

主要施策(6) お客様サービスの向上

R4 年度最終予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
196,282	202,984	0	202,984	194,013	0	194,013

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
支払方法の多様化や手続き等のオンライン化					
支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況	○				
「お客様の声」を活かした事業運営(広報・広聴の充実)					
アンケート情報収集割合			○		
業務改善数	○				
広報活動の改善状況	○				

主要施策の評価

達成状況	概ね達成している
3つの項目について「達成している(100点)」、1つの項目について「未達成だが進展している(65点)」と評価したことから、施策全体としては、「概ね達成している(75点以上95点未満)」と評価しました。  $\frac{100 \times 3 + 65}{4} = 91.25$	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 県水だより満足度	90.0%以上(毎年度)	88.3% (標本誤差を加味して86.7%~89.9%)	概ね達成している		
2. ホームページ満足度	80.0%以上(毎年度)	65.8% (標本誤差を加味して63.8%~67.8%)	概ね達成している		
3. お客様サービス満足度	90.0%以上(毎年度)	92.3%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 県水だより満足度	87.1%	88.3%			
2. ホームページ満足度	65.9%	65.8%			
3. お客様サービス満足度	92.3%	92.3%			

【評価結果の説明・分析】

1. 県水だより満足度

広聴結果等を踏まえて、図、写真、見出しなどのレイアウトや記事内容を見直し、お客様に興味を持っていただけるよう創意工夫を実施しましたが、実績値は88.3%で、標本誤差を加味してもわずかに目標値を下回る結果となりました。

目標達成はできませんでしたが、昨年度より満足度の向上が見られたことから、引き続きお客様の声を活かした紙面づくりに取り組み、お客様に興味を持っていただけるような構成となるようさらなる創意工夫に取り組み、満足度向上を図ります。

2. ホームページ満足度

ホームページ全体のレイアウトやデザインの見直しや、必要な情報を探しやすくする工夫をし、満足していただけるよう改善を図りました。しかし、実績値は65.9%で、標本誤差を加味しても目標値を下回る結果となりました。

「今のままで特に問題ない」といった声がある一方で、「情報の羅列でつまらない」、「ページ全体が堅いイメージがある」、「文字ばかりなので味気ない」、「ポタリちゃんを大きく出したら親しみやすくなりそう」、「緊急情報などをページトップに大きくわかりやすく載せてほしい」といった声が寄せられていることから、今後も、ホームページを閲覧して満足していただけるよう、画像や動画、公式キャラクターを効果的に使用し、ホームページのレイアウト、デザイン配色を工夫しながら、より効果的なホームページづくりに取り組みます。

3. お客様サービス満足度

インターネットモニターのアンケート調査において、県営水道に関するお客様サービス満足度（総合評価）を調査したところ、「満足」「やや満足」の回答率が成果目標に達しており、各取組の成果が出ていると考えられます。

参考 アンケートの標本誤差について

県水だより満足度

- ・回答者数 419 人
- ・回答比率 88 %
- ・標本誤差  $100 \times 1.96 \sqrt{0.88(1-0.88)/419} = 3.08$  (誤差の半値 1.6%)
- ・実績値の誤差範囲 (実績値に標準誤差の半値を加味)  $88.3 \pm 1.4\% = 86.7\% \sim 89.9\%$

ホームページ満足度

- ・回答者数 552 人
- ・回答比率 66%
- ・標本誤差  $100 \times 1.96 \sqrt{0.66(1-0.66)/552} = 3.95$  (誤差の半値 2.0%)
- ・実績値の誤差範囲 (実績値に標準誤差の半値を加味)  $65.8 \pm 2.0\% = 63.8\% \sim 67.8\%$

今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】	
<p>一部の事業で新型コロナウイルスの影響により、目標を下回った項目があったものの、継続してインターネットモニターによるアンケート調査を実施するほか、令和5年度以降は順次再開される見込みの各種イベントでアンケートを実施することとしています。</p> <p>主要施策の評価については「概ね達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性	
外部評価会議委員の評価	A：妥当である 人 B：概ね妥当である 人 C：不十分である 人	
評価会議委員の主な意見等及び局の回答		

基本目標 3 お客様からの「信頼」の確保

主要施策 ( 7 ) 大規模事業者の責務と社会貢献

R4 年度最終予算額 ( 千円 )				R4 年度決算額等 ( 千円 )		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
393,615	394,598	0	394,598	339,120	0	339,120

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
県内水道の統合・広域連携					-
環境負荷の低減に向けた取組					
再生可能エネルギー発電設備活用による発電量	○				
浄水発生土の再資源化率、 再利用可能な建設発生土の再資源化率、 建設副産物の再資源化率	○				
国際貢献及び他事業者への技術支援					
海外水道事業者への技術支援	○				
県内水道事業者へ開放する研修講座数	○				

本取組の検討主体は知事部局であることから、評価の対象からは除外します。

主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 二酸化炭素排出量削減	3,300t-CO2/年 ( 毎年度 )	2,979t-CO2/年	概ね達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 二酸化炭素排出量削減	2,941t-CO2/年	2,979t-CO2/年			

【評価結果の説明・分析】

太陽光発電やマイクロ水力発電による電力の削減、発生土のリサイクルなどにより二酸化炭素排出量削減を図りました。各取組により 2,979t-CO2/年の成果が得られましたが、目標には及ばなかったため、概ね達成しているとしました。来年度も引き続き二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。

今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 主要施策は「達成している」、成果指標の達成状況は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

内部評価機関 ( 経営戦略会議 )	( 総合的な意見等 ) 自己評価を妥当と認める
における評価	( 特記事項 ) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 人                  B：概ね妥当である 人                  C：不十分である 人</p>	
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>		

基本目標 3 お客様からの「信頼」の確保

主要施策 ( 8 ) 運営基盤の強化

R4 年度最終予算額 ( 千円 )				R4 年度決算額等 ( 千円 )		
R4 当初予算額	R4 最終予算額	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
51,333,424	49,909,280	17,142,731	67,052,011	38,382,292	20,630,459	59,012,751

主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
<b>職員の育成・確保及び能力開発</b>					
技術研修等講座数					
人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善					
事業運営に必要な執行体制の確保	○				
<b>ICT や民間活力の活用による業務の効率化</b>					
支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況 ( 再掲 )					
ICT ( 情報通信技術 ) 等の活用による業務の効率化に向けた検討					
配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施					
<b>システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化</b>					
情報システム等の整備件数					
情報セキュリティ研修等受講者数					
障害等への即日の初動対応率					
<b>健全経営の推進</b>					
経費の削減					

主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況			
1. 経常収支比率	財政収支見直しにおける数値以上 ( R4: 111.6 % )	105.5	未達成だが進展している			
2. 自己資本構成比率	財政収支見直しにおける数値以上 ( R4: 77.5 % )	78.7	達成している			
過年度実績		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 経常収支比率		112.1%	105.5%			
2. 自己資本構成比率		79.2%	78.7%			

【評価結果の説明・分析】

1. 経常収支比率

燃料価格高騰に伴う動力費の増 ( 20 億円増 ) や、料金システム関連業務委託の増等による委託料の増 ( 13 億円増 ) 等により、経常費用は前年度と比較して 41 億円増の 717 億円となりました。一方で経常収益はおおむね前年度並みの 757 億円となったことから、経常収支比率は前年度から 6.6 ポイント悪化し、105.5 となりました。中期経営計画における目標との比較では、前述の経常費用の増のほか、新型コロナウイルス感染症の影響等による給水収益の減等により、経常収益が見通しを下回ったため、経常収支比率は目標を 6.1 ポイント下回りました。

経常収支比率について他項目と同様の評価基準とした場合、目標である 111.6 の 80% である 89.28 を超えた場合、B 評価「概ね達成している」となりますが、100 を下回ると経常赤字となり、評価としてふさわしくないことから、経常赤字を表す 100 未満を D 評価「進展していない」とし、100 をどの程度上回ったかで評価しました。令和 4 年度決算では、目標である 111.6 から 100 を差し引いた 11.6 の 80% である 9.28 以上であれば B 評価、以下であれば C 評価と考え、C 評価「未達成だが進展している」としました。

2. 自己資本構成比率

純利益を 39 億円計上したものの、長期前受金の償却に伴う繰延収益の減（42 億円減）のため、資本と繰延収益の合計は 3 億円減少しました。一方で、企業債残高の増（6 億円増）や未払金の増（40 億円増）等により、負債は 49 億円増加しました。結果、自己資本構成比率は前年度から 0.5 ポイント悪化し、78.7 となりましたが、中期経営計画における目標である 77.5 を上回ったことから、「達成している」と評価しました。

今後の進め方

今後の進め方	継続
--------	----

【評価結果の説明・分析】

主要施策の評価については「達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「未達成だが進展している」と評価しており、目標を達成していない項目があるものの、ICT の活用などにより更なる業務の効率化を図り経費の削減に努める等、運営基盤の強化を図ります。

内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性	
	A : 妥当である            人 B : 概ね妥当である       人 C : 不十分である         人	
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答		